

1. ヨークシャテリア 1歳 メス 体重 1kg
主訴： 流涎、徘徊、けいれん発作
元氣、食欲の廃絶



血液検査

TP 4.1 g/dl

Alb 2.2 g/dl

BCAA 286 mmol/L

Tyr 58 mmol/L

BTR 4.93

PT 8.5 sec

APTT 25.4 sec

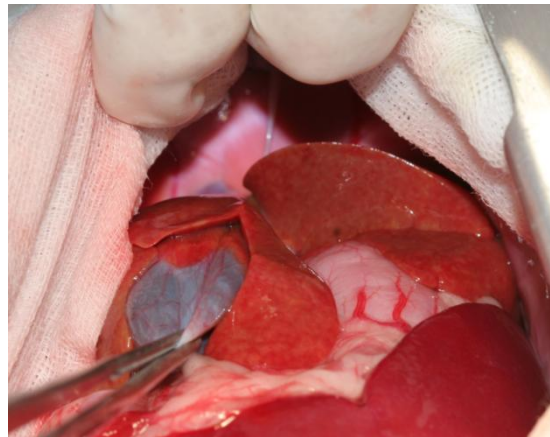
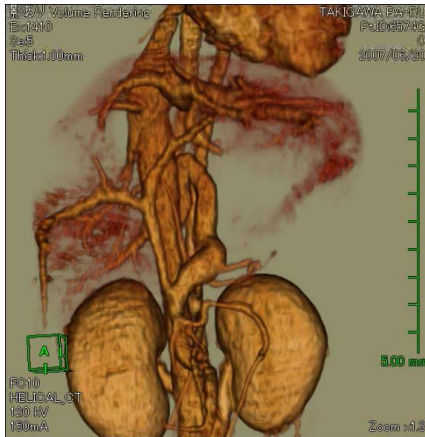
ATIII 76.8 %

NH3 Pre 33 μ g/dl

TBA Pre 37.5 μ mol/l

Post 30 μ g/dl

Post 200 μ mol/l



診断：門脈体循環シャント（奇静脈シャント）

手術までの内科的治療

ベジタブルサポート Dr プラス 1g TID

肝臓用処方食

ラクツロース 1cc/kg BID

治療経過

項目	初診時	1か月の栄養療法で	4週間後	単位
Alb	2.2		3.2	g/dl
TP	4.1		5.1	g/dl
BCAA	286		1490	mmol/L (>400)
TYR	58		70	mmol/L (<50)
PT	8.5		7.9	sec (6.0-8.5)
APTT	25.4		18.2	sec (10.5-16.5)
ATIII	76.8		117.2	% (70-120)

手術可能な状態まで改善！

ほとんどの項目で改善が認められた！！

治療の Point ! とコメント

ベジタブルサポート Dr プラスによる栄養療法を実施する前は、ラクツロースと肝臓用処方食、抗生剤を処方されていたが、臨床症状はあまり改善されず、食欲の廃絶があった。臨床症状よりも Owner にとっては食事を食べないことが最大の悩みとなっていた。ベジタブルサポート Dr プラスを今まで食べていた肝臓用処方食に混ぜることによって、嗜好性が改善し、臨床症状も劇的に改善した。ベジタブルサポート Dr プラスを4週間投与した後の検査では、BCAA 濃度が上昇し Alb, TP が顕著に改善していた。BCAA 濃度が上昇することにより肝臓でのタンパク合成が盛んになり、Alb 以外に凝固タンパク (ATIII) も上昇していると考えられた。(栄養療法で手術可能な範囲まで全身状態を改善できた。)

さらに、ベジタブルサポート Dr プラスにはビタミン K も豊富に含まれており、この症例のように凝固系が延長している患者にも有用であった。合成ビタミン K 製剤の経口投与では凝固系の改善はあまり認められないが、天然ビタミン K を含むベジタブルサポート Dr プラスは、PT や APTT を改善させる可能性があることが示された。

この症例は、1か月の栄養療法の後に門脈シャントの手術を実施して完治している。

※記事・写真の無断転載を禁じます。